

News Release

2022年3月8日

この資料は、BASFが2022年2月23日にシンガポールで発表した英語のプレスリリースをBASFジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

BASF、マレーシアで Ultramid® PA と Ultradur® PBT の生産能力を拡大

- 2023年第2四半期から増産可能に
- 自動車、家電、電気・電子機器業界におけるエンジニアリングプラスチックの需要増加に対応

BASF(本社:ドイツ ルートヴィヒスハーフェン)は、Ultramid® PA(ウルトラミッド、PA: ポリアミド)と Ultradur® PBT(ウルトラデュアー、PBT: ポリブチレン・テレフタレート)の生産能力を年間5千トンに拡大します。マレーシア・パシルグダンにある生産拠点において、2023年第2四半期からの増産を予定しています。

「BASF は、エンジニアリングプラスチック業界に大きな成長機会をもたらすように、積極的に取り組んでいます。今回の生産能力拡大により、当社の Ultramid® PA と Ultradur® PBT に対する需要増に応えるとともに、ASEAN における市場ポジションも強化できるでしょう」と、BASF パフォーマンスマテリアルズ事業本部 アジア太平洋地域のシニアバイスプレジデント、アンディ・ポスルスウェイトは述べています。

ASEAN のエンジニアリングプラスチック市場は、2020年から2030年にかけて年率約5%で成長すると予測されています。この成長は、自動車、家電、電気・電子機器などのさまざまな産業分野におけるエンジニアリングプラスチックの需要増加に牽引されるものです。

マレーシア ジョホール州のパシルグダンにある生産拠点は 1999 年に建設され、そのエンジニアリングプラスチックのコンパウンド工場では、Ultramid® PA と Ultradur® PBT を生産しています。

Ultramid®と Ultradur®は、自動車用途や電気・電子分野、工業製品、消費財などに使用されています。

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

■BASF のパフォーマンスマテリアルズ事業本部について

BASF のパフォーマンスマテリアルズ事業本部は、材料のノウハウを一つに融合し、革新的でカスタマイズされたプラスチック関連製品とサービスを提供します。本事業部はトランスポーターション、建築・建設、インダストリアルアプリケーション、消費財という 4 つの主要産業部門で世界的に事業を展開しており、強力な製品・サービスポートフォリオを備え、アプリケーション志向のシステムソリューションを深く理解しています。収益性と成長を促進させている主な要素は、お客様との緊密な連携と、明確なソリューション重視の姿勢です。研究開発の点でも高い能力を有しており、それが革新的な製品やアプリケーションを開発する基盤となっています。2020 年、パフォーマンスマテリアルズ事業本部は、世界で 56.3 億ユーロの売上高を達成しました。詳細に関しては、www.plastics.basf.comをご覧ください。

■BASF について

BASF (ビーエーエスエフ) は、ドイツ ルートヴィッヒスハーフェンに本社を置く総合化学会社です。持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、環境保護と社会的責任の追及、経済的な成功の 3 つを同時に果たしています。また、全世界で約 110,000 人の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献できるよう努めています。ポートフォリオは、6 つの事業セグメント(ケミカル、マテリアル、インダストリアル・ソリューション、サーフェステクノロジー、ニュートリション & ケア、アグロソリューション)から成ります。2021 年の BASF の売上高は 786 億ユーロでした。BASF 株式はフランクフルト証券取引所(BAS)に上場しているほか、米国預託証券(BASFY)として取引されています。BASF の詳しい情報は、<http://www.basf.com> をご覧ください。